

地震 その時10のポイント

地震時の行動

グラツときたら身の安全

地震の時は、まず身の安全を図り、揺れがおさまるまで様子を見る。



落ちついて 火の元確認 初期消火

- 火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- 出火した時は、落ちついて消火する。



あわてた行動 けがのもと

屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。



窓や戸を開け 出口を確保

揺れがおさまった時に、避難できるような出口を確保する。



落下物 あわてて外に飛び出さない

瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので注意する。



地震後の行動

門や塀には 近寄らない

屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



正しい情報 確かな行動

ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



確かめ合おう わが家の安全 隣りの安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



協力し合って救出・救護

倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



避難の前に安全確認 電気・ガス

避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。

